



図書館・美術館の事業と予定



1月14日（月）午後1時30分から図書館ボランティア・ほたるの会の皆様による新春お楽しみ会が開催されました。大型絵本の読み聞かせや歌遊び、カードによる絵合わせなど楽しい内容で子どもたちを楽しませて下さいました。



1月は、栄保育所、睦合保育所の園児の皆様が図書館でお楽しみ会を開催しました。手遊びや読み聞かせ、ペットを使って楽しい歌遊びなど行われ、終了後は自分で好きな本を選び園に戻りました。



図書館 3月の予定



美術館 3月の予定

・乳幼児リトミック教室

3月6日（水）午前10時30分～11時30分

講師：佐野貴子先生／長洞まゆ先生

・乳幼児お話会 のんたんのへや

3月13・20・27日（水）

午前10時30分～11時30分



・わくわくお話会 ひよこの会

3月9日（土）午後1時30分～2時30分

今年度最後のイベントになります。お友だちをさそって来てください。

・図書館映画会 アニメ 「おしりたんてい」

3月16日（土）午後3時～4時

「早蕨作品展」

会期：3月9日（土）～3月31日（日）

9日（土）は正午から、31日（日）最終日は午後3時までとなります。

早蕨の会会員の皆様の力作をぜひご鑑賞下さい。

美術館企画展「望月勅雄水墨画展 今こそ残したい風景」

町内外から多くの皆様にご来場いただきました。

また、特別に先生のコレクションも展示していただきとても好評でした。



3月の図書の展示 「2018年受賞図書」

芥川龍之介賞や直木三十五賞に代表される文学賞から新聞社・出版社・各種団体が主催する文化・学術賞などご紹介したいと思います。

新刊・話題本コーナー



「遣らずの雨」など全5編の時代小説を収録。「藍千堂」シリーズ第3弾。『オール讀物』掲載に書き下ろしを追加。

文藝春秋



推理・ミステリー小説。「再会」で江戸川乱歩賞を受賞。他の著書に「ルパンの娘」「スマイルメーカー」などがある。

KADOKAWA



法では裁けない非道、そして現代の卑しき心の病魔を始末する。数多くの大賞、優秀賞を受賞している誉田哲也のミステリー小説。中央公論新社



1964年東京都生まれ。「八月の青い蝶」で第26回小説すばる新人賞を受賞して作家デビュー、その後多くの小説を手がける。

小学館



裏稼業として人の記憶を取引する「店」で働く良平と健太は、シンガーソングライター・星名の素性を追うことに。第5回新潮ミステリー大賞受賞。

新潮社



殺人を犯しながら、誰にも知られず、日常生活を続ける者たちがいる。現代社会の「裏」を描いた犯罪小説。

講談社



戦国を駆け抜けた男の、生き方を変えたものは何だったのか。武略名高き西国の雄・毛利元就の戦いの生涯を描く。

光文社



江戸を舞台に描く、あやかし奇譚第2弾。心あたたまる8つの話を収録した時代劇小説。

東京創元社



NHK大河ドラマ「いだてん」の主人公・金栗四三。生涯25万キロを走り抜いた男の波乱の人生を、200点以上の写真や資料で明らかにする。

洋泉社



名女優が語り尽くした生と死、演技、様々な雑誌に掲載された樹木希林の言葉をまとめる。ユーモアと洞察に満ちた希林流生き方のエッセンスが満載。

文藝春秋

話題本

・「なぜ人と人は支え合うのか」
渡辺一史（著）
ちくまプリマー新書



【内容紹介】 障害者について考えることは、健常者について考えることであり、自分自身について考えることでもある。2016年に相模原市で起きた障害者殺傷事件などを通して、人と社会、人と人のあり方を根底から見つめ直す。

「そんな夜更けにバナナかよ 愛しき実話」原案者